

平成28年 2月5日  
松山河川国道事務所

一般国道 196 号 <sup>いまばり</sup>今治道路(今治 IC~<sup>あさくら</sup>今治朝倉 IC 間)の  
**起工式を2月13日(土曜日)に行います。**

一般国道196号今治道路は、今治ICと今治湯ノ浦ICを結ぶ延長10.3kmの自動車専用道路で、今治小松自動車道の一環として整備を進めています。

このたび、今治小松自動車道で最後の区間となる今治IC~今治朝倉IC間において、工事に着手することになりました。

今治道路が全線開通すると、本州と四国を結ぶ3ルートが全て四国の高速道路ネットワークと繋がることになり、産業や観光の振興、大規模災害時の「命の道」としての役割が期待されています。

工事着手にあたり、起工式を以下のとおり執り行います。

1. 日 時 : 平成28年2月13日(土) 13:30~
2. 場 所 : 愛媛県今治市新谷地先(今治朝倉 IC 付近)

※起工式は、報道関係者の方の取材、撮影は自由に行っていただけます。

なお、駐車用スペースについては現地でご案内いたします。

※一般の方も、見学は自由に行っていただけます。

ただし、駐車場に限りがありますので、その点、ご留意下さい。

※事業の概要は、別紙1を参照。起工式の詳細は、別紙2~3を参照。

本施策は、四国圏広域地方計画「NO. 5 圏域の連携による発展に向けた地域力向上プロジェクト」及び「NO. 6 防災力向上プロジェクト」の取り組みに該当します。

問い合わせ先: 四国地方整備局 松山河川国道事務所 工務第二課

副所長(道路): 黒木 賢二郎(くろき けんじろう)(内線:205)

◎工務第二課長: 神前 巖 (かんざき いわお)(内線:411)

代表: 089-972-0034

直通: 089-972-0259

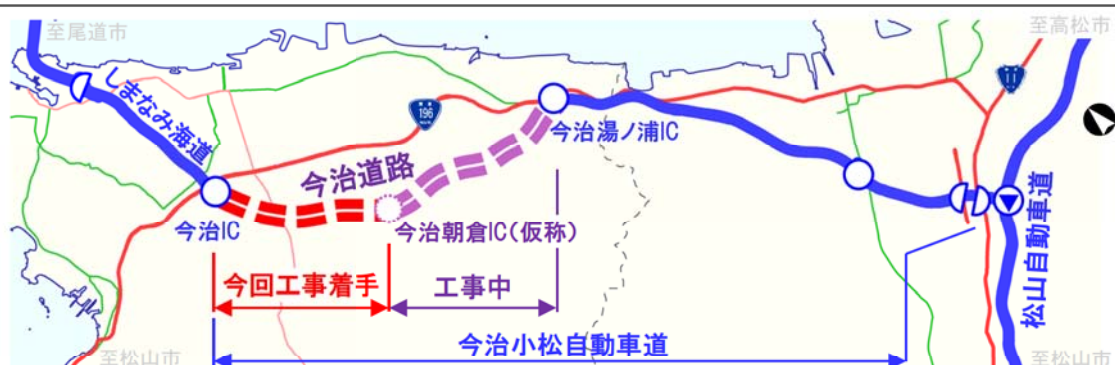
FAX: 089-972-6623

◎: 主な問い合わせ先

一般国道196号今治道路は、今治ICと今治湯ノ浦ICを結ぶ延長10.3kmの自動車専用道路です。今治小松自動車道の一環として、しまなみ海道と松山自動車道を接続し、今治市内における交通渋滞の緩和を図るとともに、高速道路ネットワークを形成することを目的として計画された道路です。

今治朝倉IC～今治湯ノ浦IC間では、早期開通に向け鋭意工事を進めているところです。今回、今治小松自動車道で最後の区間となる今治IC～今治朝倉IC間において、工事に着手することになりました。

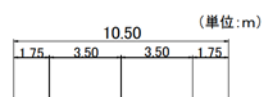
## 平面図



## 標準断面図

※暫定2車線

<土工部>



<橋梁部>



## <参考>今治朝倉IC(仮称)～今治湯ノ浦IC間の工事状況



①今治市古谷付近



②今治市朝倉南付近



③今治市長沢付近



## 一般国道196号 今治道路(今治IC～今治朝倉IC間) 起工式典概要

1. 日時 : 平成28年 2月13日(土) 13:30～14:30頃
2. 場所 : 愛媛県今治市新谷地先(今治朝倉IC付近)
3. 主催 : 愛媛県、今治市、松山河川国道事務所
4. 起工式典 次第 (13:30～14:30頃)
  - 1) 開式の辞
  - 2) 主催者挨拶
  - 3) 来賓祝辞
  - 4) 来賓紹介
  - 5) 祝電披露
  - 6) 事業概要説明
  - 7) はつ鍬
  - 8) 地元中学校 吹奏楽部による演奏  
地元保育所 園児参加によるバルーンリリース
  - 9) 閉式の辞

今治道路 起工式典会場 位置図



出典：電子国土WEB

今治道路 起工式典会場 案内図



出典：電子国土WEB

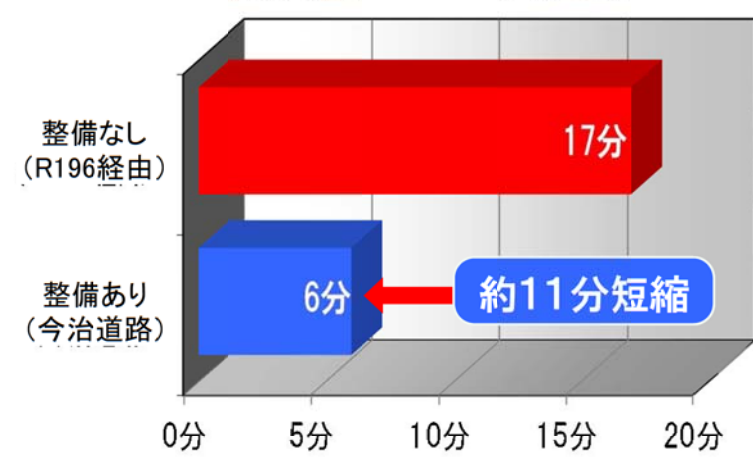
# 【期待される整備効果】沿線道路の渋滞緩和及び移動時間の短縮・定時性の確保

- ・ 今治道路沿線の国道196号等では、交通の集中により慢性的な渋滞が発生しています。
- ・ 今治道路の整備により交通の分散が図られ、国道196号等の**渋滞緩和や移動時間の短縮・定時性の確保**が期待されています。

## ＜沿線の主要渋滞箇所＞



## ▼所要時間の短縮(今治IC～今治湯ノ浦IC間)



資料) 整備なし: H22道路交通センサスの旅行速度と区間延長より算出  
整備あり: 今治道路は設計速度

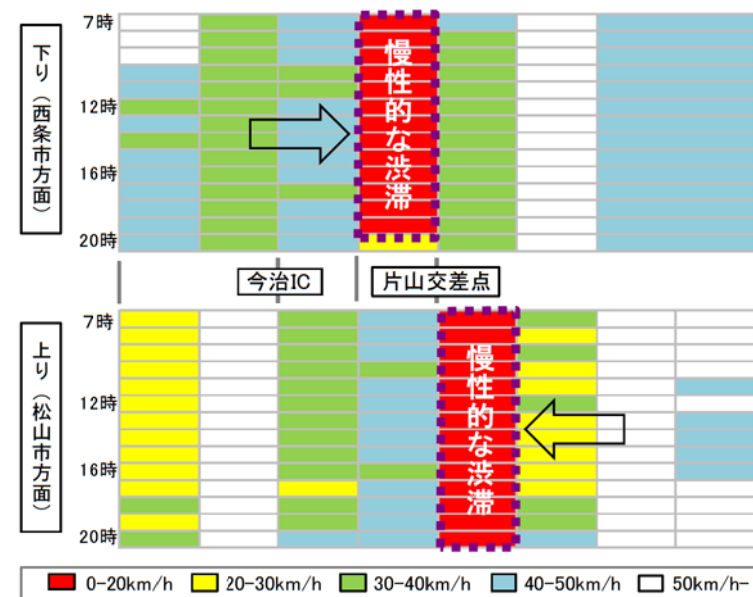
## ▼片山交差点の渋滞状況(写真①)



## ▼片山交差点の渋滞状況(写真②)



## ▼国道196号 片山交差点付近の旅行速度



資料) 民間プローブデータ(H27.5～H27.7)から算出

# 【期待される整備効果】災害時における安全性・信頼性のある広域高速道路ネットワークを確保

- ・ 四国の太平洋側では、南海トラフ地震による強い揺れや津波により、甚大な被害が想定されていますが、しまなみ海道ルートだけが四国内の高速道路ネットワークに繋がっていません。
- ・ 今治道路の整備により、災害時に信頼性の高い緊急輸送道路が確保でき、支援部隊等の被災地へのアクセスが向上し、救命・救助・復旧活動の迅速化に大きく寄与することが期待されています。

＜南海トラフ地震発生時における震度分布と津波高＞



《参考》大規模災害時に重要な役割を果たす広域高速ネットワーク (東日本大震災事例)



資料)「東日本大震災と道路」パネル展

資料)「南海トラフ巨大地震対策について(最終報告)」H25.5.28  
 内閣府(中央防災会議・防災対策推進検討会議)「南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループ」より  
 「南海トラフの巨大地震による津波高・浸水域等(第二次報告)H24.8 最大ケースより

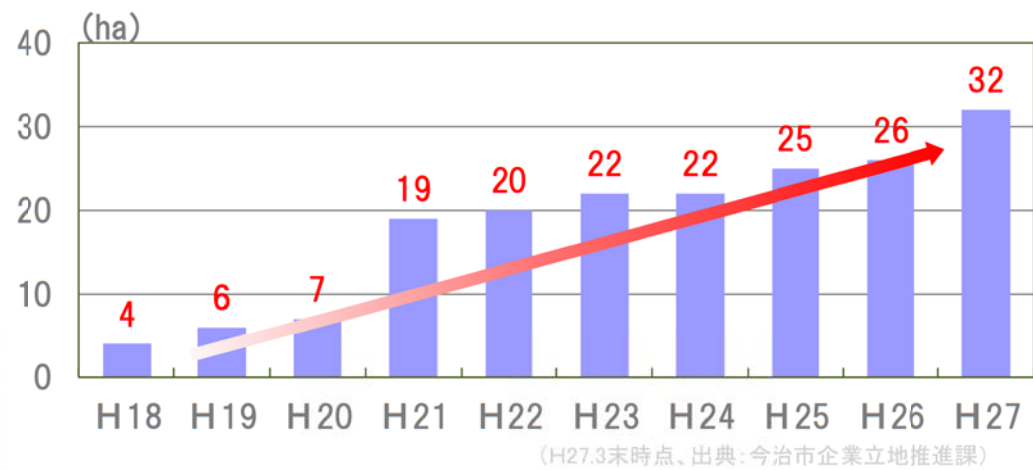
# 【期待される波及効果】今治ICに隣接する今治新都市などの地域開発を支援

- ・ 今治市などは、今治道路としまなみ海道が接続する「今治IC」付近において、『今治新都市』の整備を行っており、企業用地の分譲や工場・商業施設等の建設が順調に進んでいます。
- ・ 今治道路の整備により、今治新都市と四国内の高速道路ネットワークが直結されることで、『今治新都市』の交流・連携を担う拠点としてのさらなる発展が期待されています。

＜今治新都市の企業立地状況(今治新都市第1地区)＞



▼今治新都市の企業用地の分譲状況(累計)



～期待の声～

- ・ 今治新都市が目指す、広域交流や地域連携を担う都市には、今治道路は必要不可欠。 (今治市/今治新都市企業立地推進担当者)
- ・ 今治道路が整備されれば、流通ルートを選択肢も広がり、時間短縮や経費削減も期待できる。 (今治新都市に立地している製造業者)



資料) 航空写真(独)都市再生機構(H24.12撮影)

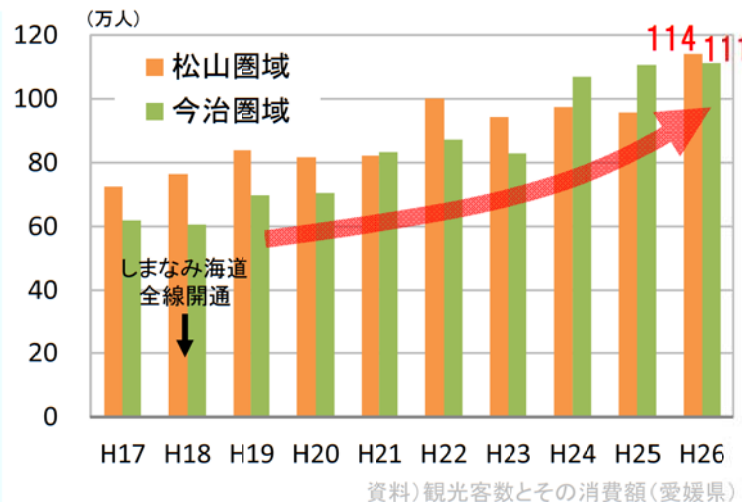
# 【期待される波及効果】アクセス向上により広域的な観光交流を支援

- ・しまなみ海道開通以降、中国地方から松山市や今治市周辺を訪れる観光客数が増え続けています。特に、サイクリング人気の高まりにより、「しまなみ海道サイクリングロード」を訪れるサイクリストが急増しています。
- ・今治道路の整備により、本州と四国を結ぶ新たな高速道路ネットワークが形成され、さらなる観光エリアや観光交流人口の拡大が期待されています。

## <高速道路ネットワークの状況>



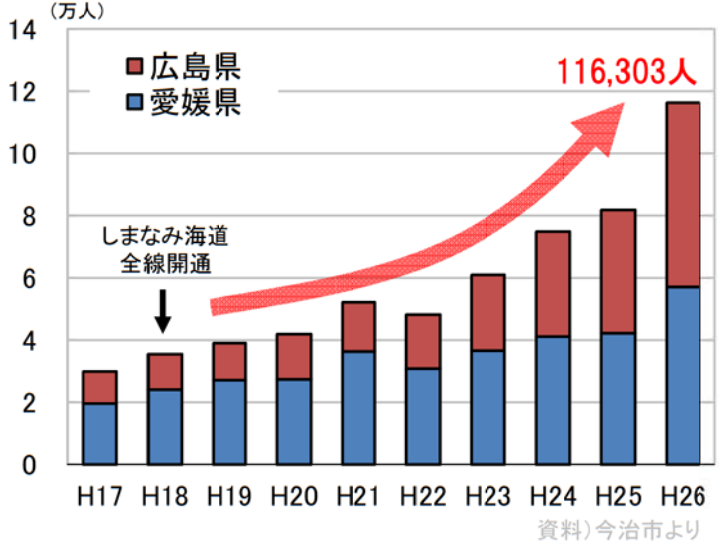
## ▼中国地方からの観光客数



## ▼松山圏域を代表する「道後温泉」



## ▼しまなみ海道レンタサイクル利用客数



## ▼しまなみ海道サイクリングロード

